

授業科目 ジェンダースポーツ論

【担当教員名】 西原 康行、山崎 史恵		対象学年	3	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎				
【概要・一般目標：G10】 女性スポーツの底辺拡大と共にスポーツを楽しむ人々も増加し、競技スポーツ界における女性の活躍もめざましい。こうした中ではまた、スポーツとジェンダーの在り方と問うことが、スポーツ愛好者や選手にとって不可欠な問題となる。新たな男女参画共生社会に適合するスポーツのありようを検討・考察する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 ・スポーツとジェンダーに関わる問題がクローズアップされる今日の時代状況を理解できる。 ・スポーツ行動の中にどのようなジェンダー問題が内在化しているかを、自らが問いかけをもてるようになる。 ・近代スポーツの発展過程の中で論議されてきたジェンダー問題について理解を深められるようになる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツとジェンダー概念				担当：西原 康行
2	スポーツ種目に観るジェンダー				担当：西原 康行
3	ジェンダーバイアス				担当：西原 康行
4	社会とジェンダー				担当：西原 康行
5	女性スポーツ選手のからだところ				担当：山崎 史恵
6	女性スポーツ選手の視点とジェンダー論				担当：山崎 史恵
7	スポーツにおけるセクシアル・ハラスメントについて考える				担当：山崎 史恵
8	スポーツ領域に内在するジェンダー問題と事例の紹介				担当：山崎 史恵
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		授業にさきだち適宜配布			
【評価方法】 出欠の実績＋試験およびレポートによる			【履修上の留意点】		